

脱炭素社会を目指して 地球&お財布に優しい“おうち時間”を!

脱炭素社会を目指すために、私たちの生活の中でできることはたくさんあります。

今回は、家庭でできる省エネ行動をご紹介します。地球とお財布に優しい“おうち時間”で、これからやってくる寒い冬を乗り切りましょう。

☎ 環境課 ☎ 72・3698

「脱炭素」とは?

地球温暖化の大きな原因である二酸化炭素などの温室効果ガスの排出を“実質ゼロ”にすること。

“実質ゼロ”とは、温室効果ガスの排出を完全になくすのではなく、排出される量と森林などが吸収できる量が同じで、バランスが取れている状態のことをいいます。

「脱炭素社会」は世界共通の目標

地球温暖化の影響で、国内でもゲリラ豪雨や土砂災害、猛暑など極端な気象現象が多発し、私たちの生活に大きな影響を与えています。

刻一刻と進む「地球温暖化」を食い止めるため、世界各国は「脱炭素社会の実現」を共通目標に掲げ、対策に取り組んでいます。

地球温暖化が進むと…



豪雨など自然災害が増加



猛暑日が続く毎日



農林水産業への悪影響

なんと!

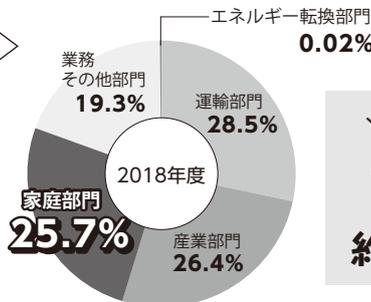
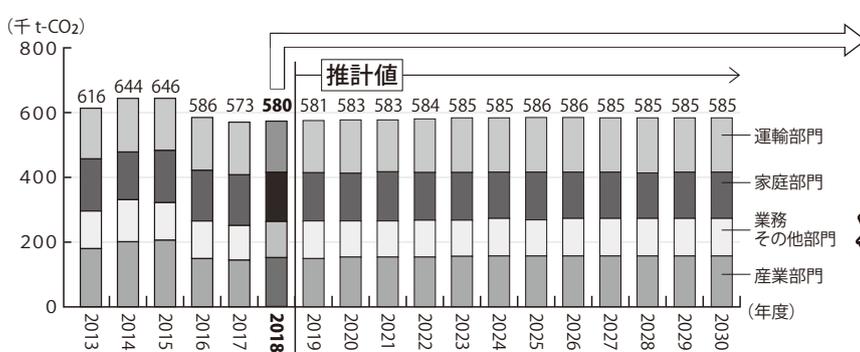
私たちのライフスタイルに起因する温室効果ガスの排出量が国全体の**約6割**を占めるという分析も!



石狩市の状況は?

2018年度の二酸化炭素排出量は58万トン。基準となる2013年度と比べて5.8%削減しています。

しかし将来推計の結果、このまま何も対策を講じなければ、二酸化炭素排出量はほぼ横ばいに見込まれています。脱炭素社会を実現するには、地域全体で二酸化炭素削減に取り組まなければなりません。



意外!
家庭部門が全体の**約4分の1**

※小数点以下第2位を四捨五入しているため合計しても必ずしも100とはなりません

2050年までに“脱炭素社会”へ

市は、2050年までに脱炭素社会を目指して「ゼロカーボンシティ」を宣言しました。脱炭素社会の実現のために、市民の皆さん全員で、できることから積極的に行動し、未来へつなぐ“持続可能な地域”へと導きましょう。

やってみよう! 省エネの取り組み

日常生活の中で、一人一人のライフスタイルに合わせてできることがあります。
暮らしの中で低炭素化することで、「快適」や「お得」というメリットにつながる取り組みもあります。
ここでは、家庭で簡単にできる省エネの取り組みをご紹介します!

暖房

設定温度を21度から20度にした場合
(使用時間:9時間/日)

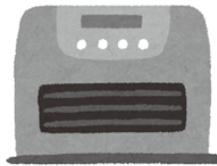
ガスファンヒーターの場合

→年間約1,320円の節約/CO₂削減量18.3kg

石油ファンヒーターの場合

→年間約880円の節約/CO₂削減量25.4kg

お出かけ・寝る
15分前に切るのがコツ!
フィルター掃除で
効率もアップ!



冷蔵庫

詰め込みすぎない。

詰め込んだ場合と、半分にした場合の比較

→年間約1,180円の節約/CO₂削減量21.4kg

設定温度を「強」から「中」にした場合
(周囲温度22度)

→年間約1,670円の節約/CO₂削減量30.1kg

熱いものは
冷ましてから入れてね!



テレビ (32V型)

1日1時間、見る時間を減らした場合

→年間約450円の節約/CO₂削減量8.2kg

画面の輝度を最大→中間にした場合

→年間約730円の節約/CO₂削減量13.2kg

消すときは
主電源をOFFに!
省エネモードも
活用しよう!



ガス給湯器

65ℓの水道水(水温20度)を使い、設定温度を
40度から38度に下げ、1日2回食器を手洗いの
場合(使用期間:253日)

→年間約1,430円の節約/CO₂削減量19.7kg

お湯は出しっぱなしにせず、
ため洗いがいいね!



＼もっと／

詳しく知りたい方は
資源エネルギー庁
省エネポータルサイトへ



温水洗浄便座

使わないときはフタを閉める(貯湯式の場合)

→年間約940円の節約/CO₂削減量17.0kg

便座や洗浄水の温度を
一段階下げるだけでも省エネに!

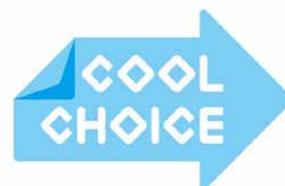


賢い選択 = COOL CHOICE

上記以外にも「二酸化炭素排出が少ない製品・サービスを選ぶ」「食品ロスをなくす」「サステナブルなファッションを選択する」など、脱炭素社会・未来のために、何を選ぶべきなのか。私たち一人一人が「賢い選択」をしていこうという取り組みが「COOL CHOICE」です。



▲環境省HP



未来の
ために、
いま選ぼう。